

健康体操、など

- 「リラク」：足湯、マッサージ、ハンドマッサージ、DVD など
- 「ライフ」：家庭菜園、居室清掃、衣替え（利用者と一緒に）など
- 「ボランティアによる活動」：今年度は活動なし
- 「余暇活動」：四季を感じることでできる行事を企画した。

主な年間行事

月	行 事 名
4	花見散歩
5	入所余暇（こいのぼり）・春行事（春の日本舞踊・こいのぼり作り）
6	歯科検診・夜間避難訓練
7	利用者健診・職員健診
8	入所余暇
9	長寿の祝い
10	夜間避難訓練
11	利用者秋季健診・インフルエンザ予防接種・園内研修
12	冬行事（クリスマス会）・入所余暇（クリスマス会）園内研修
1	夜勤者健康診断・冬行事（お正月遊び）・入所余暇（お正月）
2	ゆうあい倶楽部贈呈式・冬行事（節分、お茶会）・園内研修
3	

定期実施項目：職員会議、支援会議、自閉・発達委員会・高齢委員会・虐待防止委員会（コンプライアンス委員会は職員会議内で実施）、給食検討委員会、広報紙発行

(ウ) 健康管理

2回の定期診断を実施した。嘱託医との連携を密に行い必要に応じて診断や治療を受診し、利用者の健康衛生、健康管理に努めた。

入所利用者においては、高齢化という面から入退院が多くなっているため急変時の対応や病院との連携が求められた。看護師のみによる対応ではなく、主任支援員、リーダー支援員が同様の対応ができるようにした。口腔ケアの充実と疾患の早期発見を目的として、月に3回往診を行っているが、新型コロナウイルス感染拡大状況により、実施できない時期もあった。

今年度は、入所利用者と職員について年3回の新型コロナワクチンの接種を嘱託医と連携し実施した。通所利用者については、ご自宅での接種を依頼し、その情報収集に努めた。インフルエンザ罹患者はいなかったが、新型コロナウイルスの脅威に晒され、日々の感染対策と有事に備えた対策が必須であった。日中のこまめな検温、利用者の体調観察をきめ細かく行い、発熱ある場合は居室を隔離するなどの対応を行った。また、通所に関しては、37.5度以上の体温がある場合の利用自粛を要請し、また不要不急の県外の往来についても控えるようお願いした。やまびこ園は「入所施設」であり、30名の利用者の生命と健康を守るという責務を果たせるよう「感染症対策マニュアル」に基づき、徹底した対応を今後も行っていく必要がある。

項 目	業 務 の 具 体 的 内 容 等
医療保険	保険証・医療費受給者資格者証の保管等
健康管理	春季健診（身長・体重・血圧測定、検尿、血液検査、心電図、胸部レントゲン、聴診、問診） 秋季健診（身長・体重・血圧測定、検尿、聴診、問診） 歯科検診（1回/年）・往診による歯科受診（重度の方の希望者を対象） インフルエンザ予防接種、入所者・通所者→入所時健康診断書提出/健康調査票提出 体重・血圧（毎月）

	ブラッシング指導（1回／年） 新型コロナワクチン接種（3回／年）
定期与薬	処方内容の確認、投与後の全身状態などの報告
健康観察	カルテ作成と担当医師との連携。家族等からの情報収集及び分析並びに記録の保持。その他状況に応じた対応に心がけ、必要事項は看護記録として保存
薬品・衛生	医務室の管理、薬品、衛生材料等の発注及び必要物品の確保
材料購入・管理	緊急・応急の処置に対応する
受診	症状に応じ、受診科選択 定期投薬している利用者 → 定期受診（嘱託医） 必要に応じ 検査実施

#### (エ) 保護者との連携

例年、ワークサポート陽だまりとの合同保護者会は、数か月おきの理事会開催や音楽会、クリスマス会等の企画をしていただいたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、行事は実施しなかった。

保護者会主催による「成年後見制度と介護保険」のテーマで開催された出前講座には施設長補佐が参加した。また、保護者会との懇談会を計画していたが、感染拡大の状況により、今年度は実施できなかった。

#### (オ) 安全・衛生管理

##### ①避難訓練

危機管理の意識を浸透させ、年間を通じた防災意識を高めるため、夜間避難訓練を2回（6月、10月）に実施した。今年度は経験年数の少ない職員を対象に実地訓練をし、それ以外の職員は避難訓練の様子を観察し、意見を出し合う形式で実施し、自身の知識を振り返る場とした。年々、利用者同士が協力して避難する姿が見られるようになってきているものの、利用者の重度・高齢化が進んでいるため、避難方法において車椅子の使用が増えてきた。その避難方法においても、特に夜間においては利用者同士の協力が不可欠になっている。

##### ②施設内環境整備

施設の老朽化に伴い、様々な箇所で修繕が必要になっている。優先度の高い修繕かどうかを見極めて実施をした。利用者の行為による破損も相次いだため、その責任の所在を明確にできるよう「施設設備等物損状況報告」の書式での確認を継続した。

また、ハード面では、指定管理者でもある敦賀市と協議を重ね、今年度は食堂から浴室にかけての廊下と食堂洗面所の床の隆起を取り除く工事を施工した。

#### (カ) 地域住民やボランティアとの交流

地域住民との交流に関しては、新型コロナウイルスの感染拡大状況に伴い、今年度は実施しなかった。

毎月の長谷地区の高齢者サロン及びボランティアとの連携においても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、連携を控えた。

#### (キ) 実習生の受け入れ等

市内中学生の社会体験学習については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

教員免許課程において必須となっている介護等体験の実習生と保育短大の施設実習は、やまびこ園としては受け入れをしなかった。

嶺南東特別支援学校高等部の現場実習においては、対象なしということで、受け入れを行なわなかった。

#### (ク) 苦情件数 10件

(ケ) 虐待通報 1件 (虐待認定はなし。)

## 2. ワークサポート陽だまり

就労移行支援事業は一年間の休止期間を経て、令和3年度より再開した。利用者のニーズ把握とアセスメントを丁寧に行い、個々に合わせた就労支援の方法で訓練を行うことを支援目標とした。施設内外の作業訓練を通して、作業能力の向上だけでなく、ビジネスマナーの習得やコミュニケーション力を向上するための支援も行った。また、関係機関との連携も大切にし、就労支援部会や就職サポート会議に積極的に参加した。その中で、ジョブガイダンスに4名、職業準備支援に3名の利用者が参加し、その結果、12月に1名が就職することができた。

就労継続支援事業 (B型) では、利用者全員が「自分らしく働く」ことを支援の目標とし、作業支援・生活支援を行った。特に、利用者それぞれの得意・不得意を把握し、個々に合わせた作業を調整したり、作業しやすい環境を提供したりすることで利用者全員が生き生き働くことを目指した新規作業開拓も行い、新たに3社から作業を受託することができた。また、令和3年度より3カ年計画で工賃向上計画を策定し、工賃向上に向けた取り組みも強化した。

土曜日開所については、年間17回開催し、延べ225名の利用があった。

### (1) 施設の概要

- (1) 名称 ワークサポート陽だまり
- (2) 種類 就労移行支援事業・就労継続支援事業B型
- (3) 所在地 敦賀市長谷47号29番地
- (4) 定員 就労移行支援事業 6名  
就労継続支援B型 34名

### (2) 利用者状況 (令和4年3月31日現在)

#### 就労移行支援事業

##### 年齢別

区別	18～29		30～39		40～49		50～59		60～69		70以上		合 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
人数	1	1		2									1	3	4

平均年齢 男性平均 16歳0ヶ月  
女性平均 29歳4ヶ月  
全体平均 26歳0ヶ月

#### 就労継続支援事業 (B型)

##### 年齢別

区別	18～29		30～39		40～49		50～59		60～69		70以上		合 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
人数	11	2	4	5	9	5	2	3	0	1	0	1	26	17	43

平均年齢 男性平均 36歳0ヶ月 (昨年度35歳1ヶ月)  
女性平均 44歳1ヶ月 (昨年度41歳1ヶ月)

(3) 施設の運営

令和3年度も新型コロナウイルスの影響は大きく、令和4年3月には利用者がコロナに罹患したことで、10日間休所することとなった。休所期間中は、電話にて健康管理や状況確認などを行った。

日々の作業状況は、繁忙期と閑散期があるものの施設内外の作業は、ほとんど途切れることなく確保することができている。

受託作業は、以前から受託している幼児教材制作作業や食品関係の作業(昆布袋入れ作業、保冷バックの洗浄)、木材加工作業の他、新たに通販会社からシール貼りや封筒入れ作業を、紙管関係の会社より段ボール再利用のためのガムテープはがしなどの作業を受託した。

施設外作業は、敦賀市から委託されている駅舎清掃や農福連携事業、福井県からの委託である二州健康福祉センターのトイレ清掃、法務局の除草作業等を行った。農福連携事業は、東浦のみかん摘果・収穫、みかん園の除草、杉箸アカカンバの間引き・収穫・販売などを行った。

また、自主製品については、昨年同様、新型コロナウイルスの影響で販売会やイベントが中止になり、売り上げが伸び悩んだ。しかし、敦賀市からの依頼で、新庁舎の家財としてさをり織りのクッション等の注文を受け、半年以上をかけて製作に取り組み、竣工式で感謝状を頂いたことは、作業に携わる全員の士気が上がる良い経験となった。

年間の工賃については、全体的な収入は昨年度より微増したが、利用者人数が増えたため昨年とほぼ同額の支給となった。

(ア) 支援内容

①生活支援

基本的な社会のルールを守り、日常生活におけるよりよい習慣を身に付けることで、社会参加を進めるための支援を行った。

②作業支援

作業を通して責任感・持続性・協調性の向上を図り、作業技術を習慣することで、働くことの喜びを感じる支援を行った。

③実習・就労支援

企業、ハローワーク、就業・生活支援センター、相談支援事業所、他の福祉サービス事業所との連携により体験実習や、就労に向けた実習を取り入れた。

(イ) 健康管理

福井厚生連による総合健診を実施し、健康管理に努めた。また、毎日の健康観察や検温、手指消毒などを徹底した。

(ウ) 保護者との連携

年2回、広報紙を発行し活動の様子を提供したり、希望者に個別面談を行ったりして保護者への理解を得た。また、必要に応じて電話連絡や自宅訪問、作業日誌で連絡を取り合うことで、利用者の状況を共有した。

(エ) 安全衛生管理

①9月9日と3月23日に避難訓練を実施した。

②作業場は常に整理整頓し、作業設備等の安全確認を励行し事故防止に努めた。

③利用者の使用する設備、食器等については常に衛生管理に努め、一日2回の館内消毒や、定期的な換気を行うなど感染防止対策を徹底した。また、食事前や施設外からの帰宅時には、手洗い等の支援も行った。

(オ) 主な年間行事

月	行 事
6	農福連携事業（東浦みかん） 健康診断（職員・利用者） 嶺南東特別支援学校実習受け入れ 就労アセスメント実施
9	避難訓練（火災想定）
10	嶺南東特別支援学校実習生受け入れ 就労アセスメント実施 職業準備訓練（就職サポート会議主催） 市役所販売会 所内研修（ニーズ整理とグループワーク）
11	インフルエンザ予防接種 嶺南東特別支援学校実習受け入れ 就労アセスメント実施 パソコン教室 農福連携事業（杉箸赤かんぱ）
12	ジョブガイダンス（敦賀市就労支援部会主催） 神楽商店街のしめ縄を設置 農福連携事業（東浦みかん） 自治会忘年会&大掃除
1	成人を祝う会（対象者1名）
2	就労アセスメント実施
3	所内研修（感染症対策とリスク管理について） 避難訓練（地震想定）

毎月実施：工賃支給、職員会議（2回に分けて全員が参加）、就労移行支援部会  
就労継続支援（B型）部会

毎月参加：敦賀市就労支援部会、就職サポート会議

(カ) 土曜日開所

日付	内容	参加人数
4月26日	花植え&ティータイム	13名
5月8日	フェイシャルエステ	13名
5月22日	カラオケ	13名
6月26日	うちわ作り	15名
7月10日	フラダンス	14名
7月31日	カラオケ	13名
8月28日	陽だまり縁日	14名